

1280

別冊第二

第十六教言備録部

一作 戰 計 畫
二 經過 概 西 女 成 果 及 所 見

司

次

別 紙 第 一

別 紙 第 二

(司 次 終)

別紙第一

機密第一六整警備隊命令第九號

昭和十七年六月一日

第十六整警備隊司令

十六作戦計画

一敵情

止松嶺方面

保亭方面

陵水方面

興隆南橋方面

雅會附近

八村附近

小妹及興一附近

香水附近

右ハ相當纏リタル兵力ヲモテ數次ノ討伐ニヨリ山中深ク潜在ス
其ノ他ハ盜賊化セル匪賊ニシテ時々部落ニ出沒シ掠奪兇切
盜ヲ行ヒツツアリ

三 討伐及討伐道路建設計画

(A) 機密海南部隊命令第一九號ノ五ヨリ三亜崖縣北方山

嶽地帯ノ討伐甫正ヲ実施スルト共ニ同方面ニ三亜崖縣還

島道路ニ對併行道路ヲ急速建設セントス

(B) 蘿葵崗ノ討伐甫正

(C) 雅會方面ノ討伐

(D) 各派遣隊受持区域内ノ討伐甫正

三 兵力部署

(一) 各派遣隊固有兵力トス

但シ兵力不足ノ隊ハ討伐ノ際一時兵力ヲ增強ス

(二) (A) 對シテハ崖縣隊馬嶺隊トシ討伐ハ崖縣隊主トシテ之

ニ當ルモノトス

(B) 對シテハ榆林隊トス

(c)ニ対シテハ止松嶺隊トス

四 討伐時期

六月一日以後トシ終了ノ時期ハ追テ達ス

五 通信連絡

二十四時間以内ノ討伐ニ於テハT M無線ヲ使用セザルヲ立前トス

六 特ニ留意スベキ事項

(一) 派遣隊ニ近キ附近民心ノ把握ニヨリ速ニ治安確保ニ資シ衷

心我方ニ協力セシムルノ要アルニ付敵性家屋(兵舎ヲ除ク)ト

雖モ其ノ焼却破壊ハ極力之ヲ避ケ若シ必要アラバ戦闘行

爲上止ムヲ得ザル最小限度ニ止メ討伐終ラバ一般民衆ニ對シ

宣撫工作ヲ活潑ニ実施スルコト

(二) 雨季ニ迫リツツアリ交通路ノ維持等豫メ対策ヲ講ジオクコト

(三) 日射病及「マラリヤ」ニ對シテ充分準備スルコト

(終)

別紙第二

Y六作戦経過概要、成果並所見

一作戦前ノ敵情

(一) 止松嶺方面

崖嶽修縣長 李尚芬ハ雅會（止松嶺南東一五料）
 雅間方面ニ約百五十名ノ遊撃隊ヲ糾合シ槍糞
 崗、町練崗、石鼻崗方面ニテ糧食ヲ徵發シ時
 々徵稅員ヲ崖嶽附近ニ遣ハシ徵稅ヲ行ヒ居
 ルモノノ如シ

(二) 保亭方面

ハ村崗（保亭北々東十六料）ニハ保亭縣遊撃隊大
 隊長梅以仁部下約五十名ヲ率ヒ蟠踞シ抗日ヲ
 叫ビツツアリ

(三) 陵水方面

(イ) 小味方面ニハ偽陵水縣長遊撃隊總指揮候
協中其部下約七八十名ヲ率ヒ蟠踞シアリ

(ロ) 興一嶺方面ニハ偽陵水第一區長 李進賢弟李
選賢 部下約四五十名ヲ率ヒ蟠踞シアリ

(四) 興隆南橋方面

香水、加攝、同安邦方面ヲ約八九十名、遊撃隊所在
分駐シ了ルモノ、如ク又沿岸漁民ハ概テ敵性ヲ有
シ時々海賊ノ行爲ヲナシ又遊撃隊ハ之等ノ船ヲ
利用シ陵水附近ニ出沒ノ用ニ供スルモノ、如シ

(五) 三亞方面

蘿葵崗方面ニハ首魁 陳日光外三十名、匪賊アリ
下常ニ半嶺、抱傘両村方面ニ出沒シ強竊盜ヲナシ

ツツアリ

二 實施經過ノ概要

今次作戦ハ機密海南部隊命令第一九號ニ基キ事
 前ニ探知シタル諸情報ニヨリ敵匪ヲ捕獲殲滅スル
 トスルモ莫地河川ノ増水等ヲ考慮シ本期作戦前
 六月三日ヨリ一部ノ作戦ヲ實施セリ

(イ) 雅會方面ノ討伐

(ノ) 敵情

修崖縣々長李ノ崗芬ハ雅會ニ本部ヲ設ケ約百三
 十名ノ兵ヲ有シ堡壘ノ崗、柵籠ノ方面ニ糧食ノ徵
 奪ニ出沒スルモノノ如シ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月 自三日一七
 至四日一八

(3) 使用兵力

止松嶺飛遣隊長ノ率ニシテ二ヶ小隊

(4) 経過 (第一圖参照)

六月三日一七〇〇討伐隊止松嶺飛遣隊出發羊堂石
 鼻嶺ヲ經テ六月四日〇六〇〇雜會部着第一小
 隊ハ左第二小隊ノ一部ハ右ニ敵兵舎ニ接近セ
 六三六兵舎ニ突入敵ハ幕ヲ亂シテ潰走セルヲ
 以テ第一小隊ハ之ヲ追撃第二小隊ハ附近掃蕩
 六五四第一小隊ハ敵ヲ急追中左翼方ヨリ敵ノ急
 射ヲ受ケ直ニ反撃手ヲ退ス 更ニ前方ニ敵兵舎六
 棟ヲ発見突入セシモ敵ハ松麓嶺方面ニ退却セ
 ルモノノ如シ
 地形ノ状況ニヨリ追撃ヲ断念シ敵兵舎十棟ヲ

燒却シテハ一ニ雅會衆一八三〇止松山嶺既着

(ロ) 興一嶺方面、討伐

(ノ) 敵情

密偵及既順者、言ニヨレバ修陵水縣第一區長李進賢及特務隊長李選賢、一派約三十名、遊撃隊ハ興一嶺方面、山腹ニ兵舎ヲ作り蟠踞シ居レリ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月五日 自一〇三〇〇

(3) 使用兵力

陵水派遣隊長、率ニル銃隊一ヶ小隊及騎馬隊八騎

(4) 経過

(第二圖参照)

〇三〇〇討伐隊陵水派遣隊出發光嶺村北方一料

ニテ下車 警行軍ヲ以テ進發シテ六〇〇騎馬隊ヲ蘭
 署園附近ニ待機セシメ警行ニ當ルハ三〇蒙木嶺
 頂上着敵兵舎ヲ搜索ヲ開始スル五〇敵兵舎ヲ發
 見突入ス一〇〇五前方三〇〇米高地ヨリ敵ノ射撃
 ヲ受ク直ニ之ヲ反撃 潰走セシム一〇〇敵兵
 舎五棟ヲ燒却ス一〇三〇終了下山既途ニ就ク一
 〇四五山中ヨリ敵ノ射撃ヲ受ケ直ニ應戰敵ヲ撃退
 ス一三三〇大瀨村ニ着乗車一四二〇陵水既着

(ハ) 羅葵崗 喃林崗方面討伐

(ノ) 敵情

羅葵崗 喃林崗方面ニハ約三十名ノ遊匪蟠踞シ匪賊的
 行爲ヲ逞クシ治安ヲ攪亂シツツアリ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月 朔八日一八三五

(3) 使用兵力

榆林分遣隊長ノ率エル銃隊一ヶ小隊

(4) 経過

(第三圖参照)

六月七日一八三〇討伐隊榆林分遣隊出發半嶺ヲ經テ〇〇五四喃淋崗打隆村着敵兵舎ヲ発見之ヲ包圍突入敵ヲ掃蕩ス〇二〇五蘿葵崗打谷村ニ向ケ出發〇四二五同所着敵兵舎ヲ発見當時豪雨ノタメ至近ノ巨離マテ肉迫スルトヲ得之ヲ包圍突入ス敵ハ不意ヲ衝カレ周章狼敗シ算ヲ亂シテ潰走ス〇八〇五蘿葵崗發一四一五榆林分遣隊取着

(二) 阿洪打苗方面討伐

(1) 敵情

捕虜ノ言ニ依レテ阿共打苗方面ニハ崖縣修區
長蘇亞鳩部下二十五名ヲ率ト蟠踞シアリ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月 自 八日 一七三〇
一四三〇

(3) 使用兵力

中村中尉ノ率エル銃隊一ヶ小隊

(4) 経過 (第四圖参照)

六月七日一七三〇討伐隊藤橋分遣隊出發保
大道路洒過嶺ニテ下車只讓 苗村付南蔽ヲ経テ
八日〇三三〇阿共着警テ最ニシツツ打苗ニ出
テ〇五〇〇敵兵舎發見シテ官圍突入セシテ
既ニ敵ハ悲走影ヲ詭メズ匪屋三棟ヲ燒却シ
七三〇打苗發往路ト同シ路ヲ辿リ一三三〇洒

過嶺者一四三、藤橋分遣隊飯着

(木) 奥村及石鼻嶺方面、討伐

(ノ) 藪情

情報ニヨレバ石鼻嶺ニハ約四十名、遊撃隊
アリ雅會ハ本月三四日兩日ニ亘リ討伐ヲ實
施スルモ雅間ニハ數十名ノ遊匪アリテ蠢動
シツツアリ又崖縣方面ハ物資購入、通路ト
ナリツツアリ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月十四日 至六月三〇日

(3) 使用兵力

指揮官 司令 勝野大佐

止松嶺派遣隊川尻小隊長、率ル銃隊一々小隊

(四) 経過

(第五圖参照)

六月十四日〇六三〇討伐隊止松嶺派遣隊出發して
 二五雁嶺下土哨ニ於テ兵力ヲ増加シ〇八〇〇ヨリ
 警戒行軍ヲ以テ寧遠水河原ニ前進奥村ニ向フ
 九〇五奥村着敵影ヲ認メズ一一〇五奥村寧遠
 水上流三折ヲダシ候神地照着司令一行ノダシ
 候神地照實測調査警備ノタメ警戒隊配備ニ就カシ
 〇一一三七上流約三〇〇米中洲上ヨリ射撃ヲ受
 ク直ニ應戦撃退ス一一四三敵砲黙射撃ヲ中止ス
 敵偵察隊ノタメ左岸高地ニ一部隊ヲ分派シシニ
 敵兵舎ニ十名ノ敵兵着伏シ居ルヲ発見直ニ有効
 ナル射撃ヲ加ヘ之ヲ殲滅セシメ「ダム」實測終了
 一三四五部隊集結級途ニ就ク一八四〇止松嶺派

遺隊被着

(ノ) 銅嶺村及同守郷方面ノ討伐

(1) 敵情

港坡部落民、言ニ依レバ港坡紅角尾ニ至ル討伐
道路工事妨害ノタメ鄧耀南劉中造ノ部下約六十
名ハ同守郷及銅嶺村附近ニ集合シ居ルモノ如

(2) 討伐日時

昭和十七年六月十五日 至 一〇四〇
一〇四五〇

(3) 使用兵力

陵水派遺隊長ノ率エル銃隊ニケ小隊

(4) 経 過

(第六圖参照)

六月十五日〇四〇〇討伐隊陵水派遺隊出發

四三〇港坡下士哨着部隊、編成ヲ行ヒ〇四四五
港坡第一第二小隊分離行動ス

(イ) 第一小隊ハ〇七〇〇同安郷南方海岸ニ進出敵状
偵察ヲナス

(ロ) 第二小隊ハ〇六五〇銅嶺海岸着〇七〇〇同海岸東

方ニ於テ敵ノ見張所ヲ発見敵兵ニ名射殺一名ヲ

逮捕ス〇七三〇第一小隊ハ同安郷第二小隊ハ銅

嶺村ニ突入部着掃蕩セシモ既ニ敵ハ昨夜東岸

嶺山中ニ逃避シ見張ノニ配シ居リタルモノノ如

ク部着ニ敵影ヲ見ズ

〇七五五掃蕩終了〇八四五第一第二小隊合隊

紅角尾ニ向フ〇八五五紅角嶺山頂ヨリ射撃ヲ

受ケ直ニ之ヲ反撃撃退ス一〇五〇討伐隊陵

水取着

(H) 押暁村ニ於ケル遊撃隊有カ分子逮捕

(I) 敵情

蘿葵崗ニ蟠踞スル遊撃隊陳日光ハ常ニ半嶺村砲
暁村ヲ經テ三亞近傍ニ出沒匪賊ノ行爲ヲ傷キ最近虎
頭嶺ノ小銃竅盜事件及熟塩坡村保長父子虐殺事
件等何レモ同匪ノ仕業ト認メラル

(2) 逮捕日時

昭和十七年六月 自十七日 至十八日 五々々

(3) 使用兵力

三亞街分遣隊南三曹ノ率エル一ヶ分隊

(4) 経 過 (第七圖参照)

六月十七日當日ハ舊曆端午節旬ナルタメ匪

賊、蠢動ヲ豫知シ一レ々々三亞街分遣
 隊發三亞送信所北方石切場附近ニ於テ潜伏
 偵察中三亞街警衛隊員譚亞興ヨリ遊撃手隊ノ
 隱家ヲ知り多行十八日々々三々々高嶺山麓隱
 家着之ヲ包圍突入シ精功ナルモ一ツルニ峯ノ銃ヲ
 所持スル陳日光配下ノ刃刀ナル遊撃隊員胡
 亞手ヲ大格闘ヨ疾シ速捕セリ々々四々々石切場
 着々五々々三亞街分遣隊既着

(4) 律才崗堡榭方面ノ討伐

(1) 敵情

情報ニ依レバ崖榭道路工事妨害ノタメ王屯官以下三
 十名ノ敵ハ律才崗堡榭(崖縣北東約十九軒)ノ東方
 一料ノ山中ニ集合襲撃ヲ企圖シ居レリ

(2) 討伐日時

昭和十七年六月二十日 自一五〇〇

(3) 使用兵力

崖縣派遣隊北野小隊長、率ユル銃隊一ヶ小隊

(4) 經過

(第六圖参照)

二十日〇〇〇〇 討伐隊崖縣派遣隊出發々一四五
抱持村西方ニテ下車直ニ警戒行軍ヨ以テ律才崗
ニ向ケ出發々四一五堡候永村着敵偵察並
檢束ヲ行フ々六四三敵兵舎發見之ヲ包圍突
入セシモ敵ハ既ニ昨夜堡抱崗方面ニ退避シ影ヲ
認メズ匪屋ニ棟ヲ燒却シ々七四五堡候永村發
級路ニ就ク一四三々崖縣派遣隊級着

三討伐ノ成果

自六、七 至六、八	六、五	自六、三 至六、四	月 日
榆林分遣隊	陵水派遣隊	止松嶺派遣隊	討伐隊派出區分
一ヶ小隊	一ヶ小隊 騎馬八	二ヶ小隊	使用兵刃
蘿葵崗 喃林崗 方面	興一嶺方面	雅會方面	討伐區域
遺棄死体 小銃 二 拳銃 一 手榴彈 一 小銃彈 三八 拳銃彈 五 兵舎焼却 八	遺棄死体 獵銃 一 拳銃彈 五 兵舎焼却 五 書類若干	遺棄死体 捕虜 一 小銃 一 小銃彈 五六 手榴彈 三 彈帶 三 兵舎焼却 一	戦 果

四

頂	目	数	量	記	事
六、二〇	崖縣派遣隊	一ヶ	小隊	徑才崗 僅捕 方面	兵舎焼却 三
六、一八	三亞街分遣隊	一ヶ	分隊	押翠村方面	捕獲、虜 峯銃一、峯銃彈一四
六、一五	陵水派遣隊	二ヶ	小隊	銅嶺村 同安鄉 方面	遺棄死体 捕獲、虜 二
六、一四	止松嶺派遣隊	一ヶ	小隊	奥村 石尊崗 方面	左岸高地ニ分派セル部 隊ハ敵ノ意表ニ出テシタメ 敵ハ行動ヲ氣付カズ約 五分間有効ナル集束射撃 ヲ加ヘ敵ニ大ナル損害ヲ與ヘ タルモノト認ム
自六、七 至六、八	陵水 保亭派遣隊	一ヶ	小隊	阿洪 打苗 方面	兵舎焼却 捕獲水牛 三 四

遠棄死体	一八	確認セルモノノミ
捕虜	三	
投降咬喉者	九	
鹵獲小銃	三	
全彈藥匁	九六	
鹵獲拳銃	二	
全彈藥匁	二四	
鹵獲手榴彈	四	
鹵獲獵銃	四	
燒却兵舎	二三	
燒却物	五〇石	
燒却塩	三石	
牧畜損害	十シ	

五、討伐道路新設状況

本作戦間左記討伐道路新設ニ着手中ニシテ一部完成ヲ
見タルモノアリ

道路名	料数	経路
崖縣温泉場道路	三料	崖縣ヨリ温泉場ニ通ズル道路
崖楠道路	二六、三料	崖縣ヨリ喃樓崗ヲ経テ逢建村ヨリ馬嶺ニ通ズル道路
加茂川道路	一三、二料	保亭加茂川ヨリ毛文ヲ青溪ニ通ズル道路
那鬱道路	四料	榆林那鬱ヨリ六道村ニ通ズル道路
虎頭嶺道路	八料	榆林樂土村ヨリ虎頭嶺見乘ニ通ズル道路(完成)
雁嶺道路	六料	雁嶺ヨリ奥村ニ通ズル道路
阜抗道路	五料	嘉荷前阜抗極ヨリ崇龍ニ通ズル道路
水源地道路	一五料	水源地下土哨ヨリ水源地ニ通ズル道路(完成)
港坡道路	一料	港坡ヨリ紅角尾ニ通ズル道路(完成)

六所見

本作戦期間、天象氣象ヲ利用シ敵捕捉殲ノ爲ノタメ特ニ殊リタル方法

當方面敵ハ進ンデ我ヲ攻撃スルカナク我方ノ攻撃ニ對シテハ極力避退ニ努メツアル情勢ナルヲ以テ敵情ヲ探知シ發見シ之ヲ捕捉殲ノ爲スルモト容易ナラズ

然ルニ敵所在ニハ皇軍ニ好意ヲ有スル黎人諺ラカナラザルヲ以テ宣撫工作ニヨリ之等ヨリ敵情ノ蒐集道案内(道案内ナクテ死シド地圖ニテハ印指ス地處ニ有知ニ到達スラ困難)等ヲナサシム。然レドレ敵地ニ近ズクニ從ヒ見張更ニ敵兵舎附近ニハ警戒用ノ番犬ニ發見セラルルヲ以テ敵ニ肉迫ハ至難中ノ難事ナリ

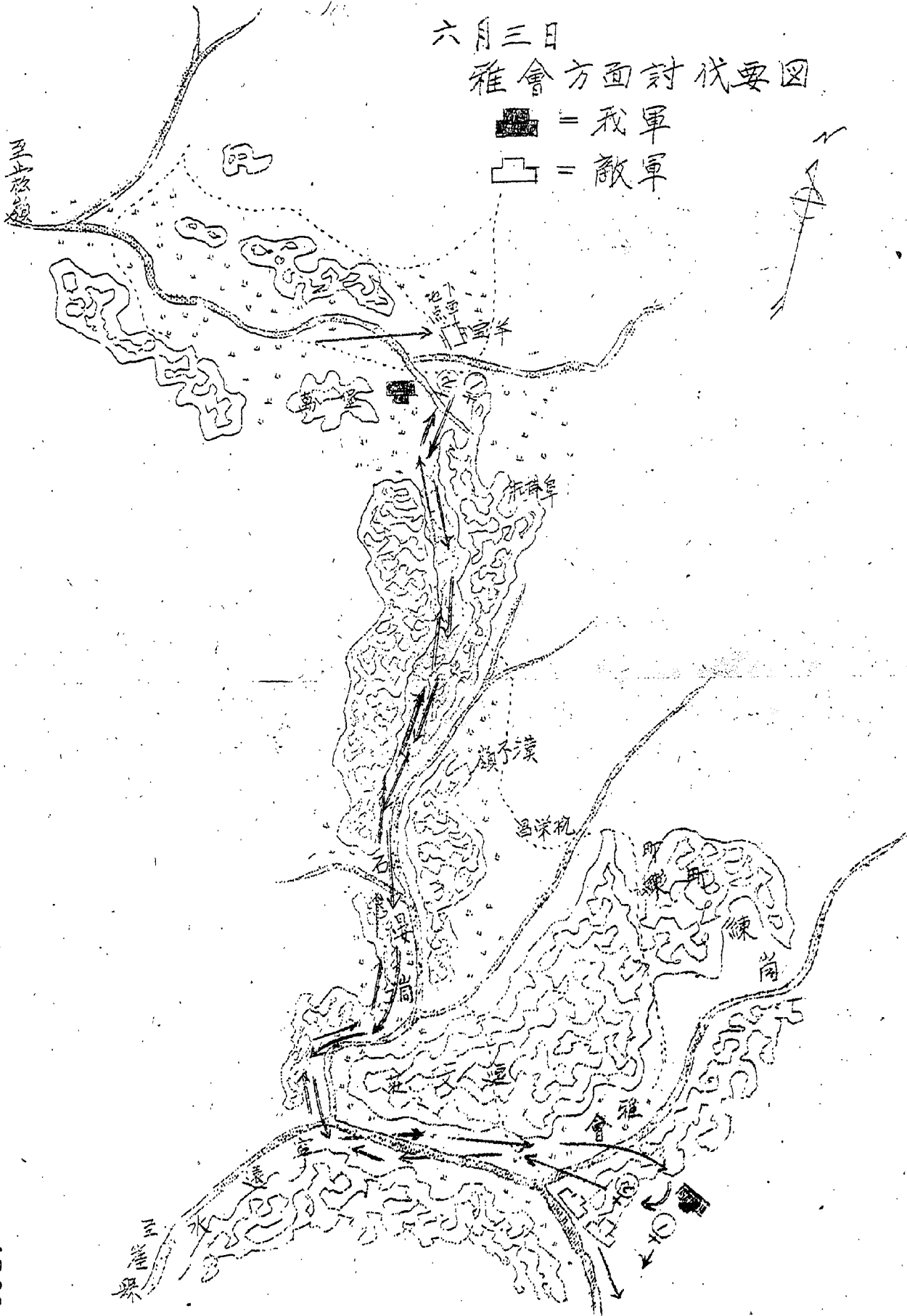
幸ヒ本期作戦ハ雨季ニ入り降雨ノ状況順調ニシテ河川ハ

増水セルモ渡河ニ差支ナク然モ拂曉ニ比較的豪雨多アリシヲ以テ討伐隊ハ敵ノ警マツ眼ヲ惹リテ接近シ得待ニ敵ノ糸目大ニテ發見セララルモトナク眞ニ肉迫スルモトヨ得ハ雅會蘿菜山崗ハ其例ナリ）殆ンド二三十米ニ接近突ハスルモトモアリタリ

唯捕捉ノ文字ニ捉ハレ又討伐隊ニハ其ノ場ニテ窺ガ出テ敵ヨ手擲ミニセントスル行動ヲ採リ又ツテ敵ヲ逐シタルモノアリ（奥地ハ殆ンド草叢ノ中ノ戰鬥ニツキ悲シタラ再ビ之ヲ捕捉スルモト短期間ニハ困難）依ツテ當方固ノ如キ敵地形ニ對シテハ肉迫ニモ限度アリ相當肉迫セバ銃火（主トシテ機銃掃射）ノ威力ニ依リ敵ヲ殲滅スルコトニテ我々慢スルモトヨ今ノ処最上ノ方策ナリト認ム

終

六月三日
雅會方面討伐要図
■ = 我軍
□ = 敵軍

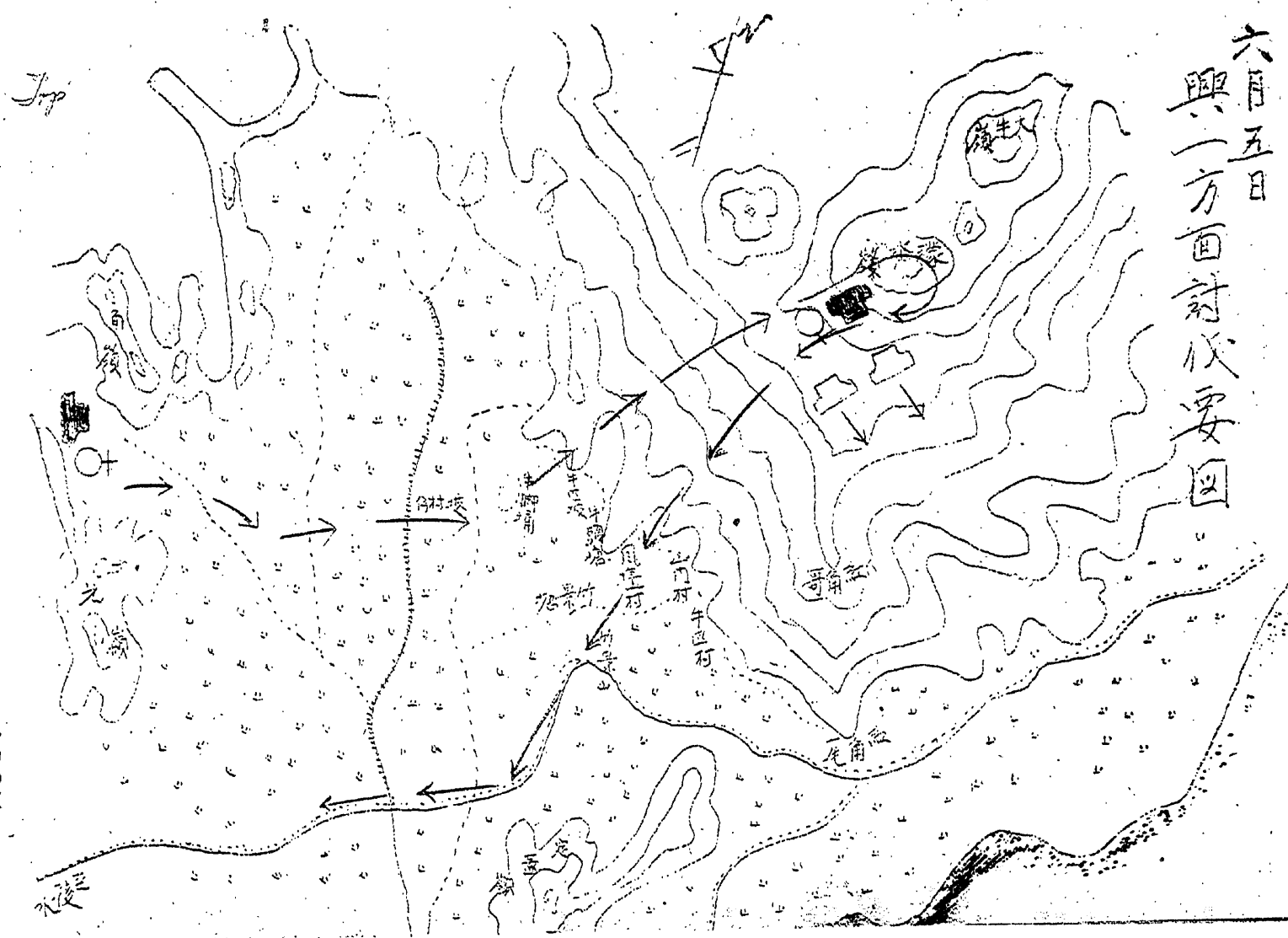


1306

第二回

六月五日

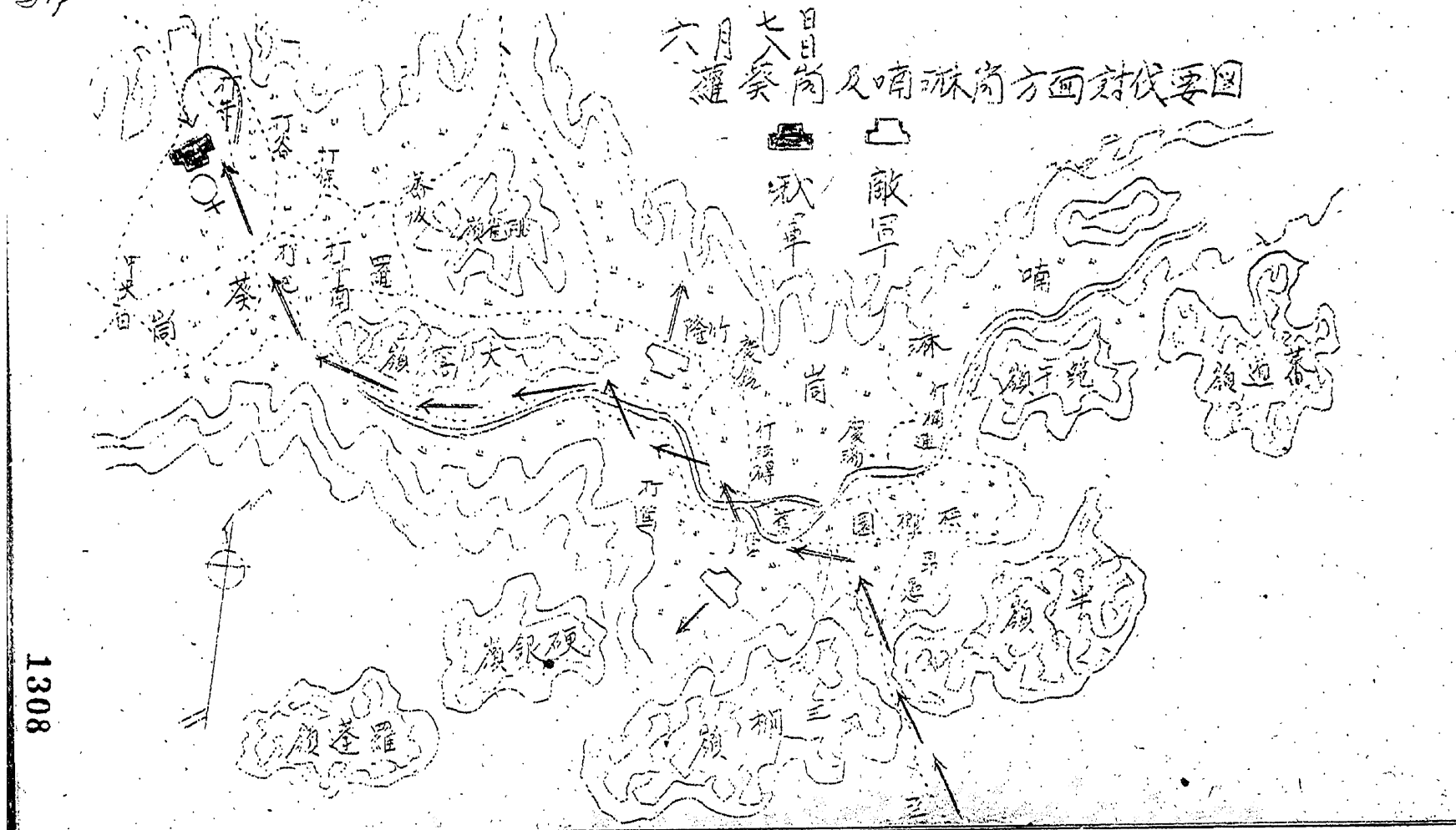
興一方向討伐要図



1307

第三圖

六月及七月間及喃嶽嶺方面討伐要圖



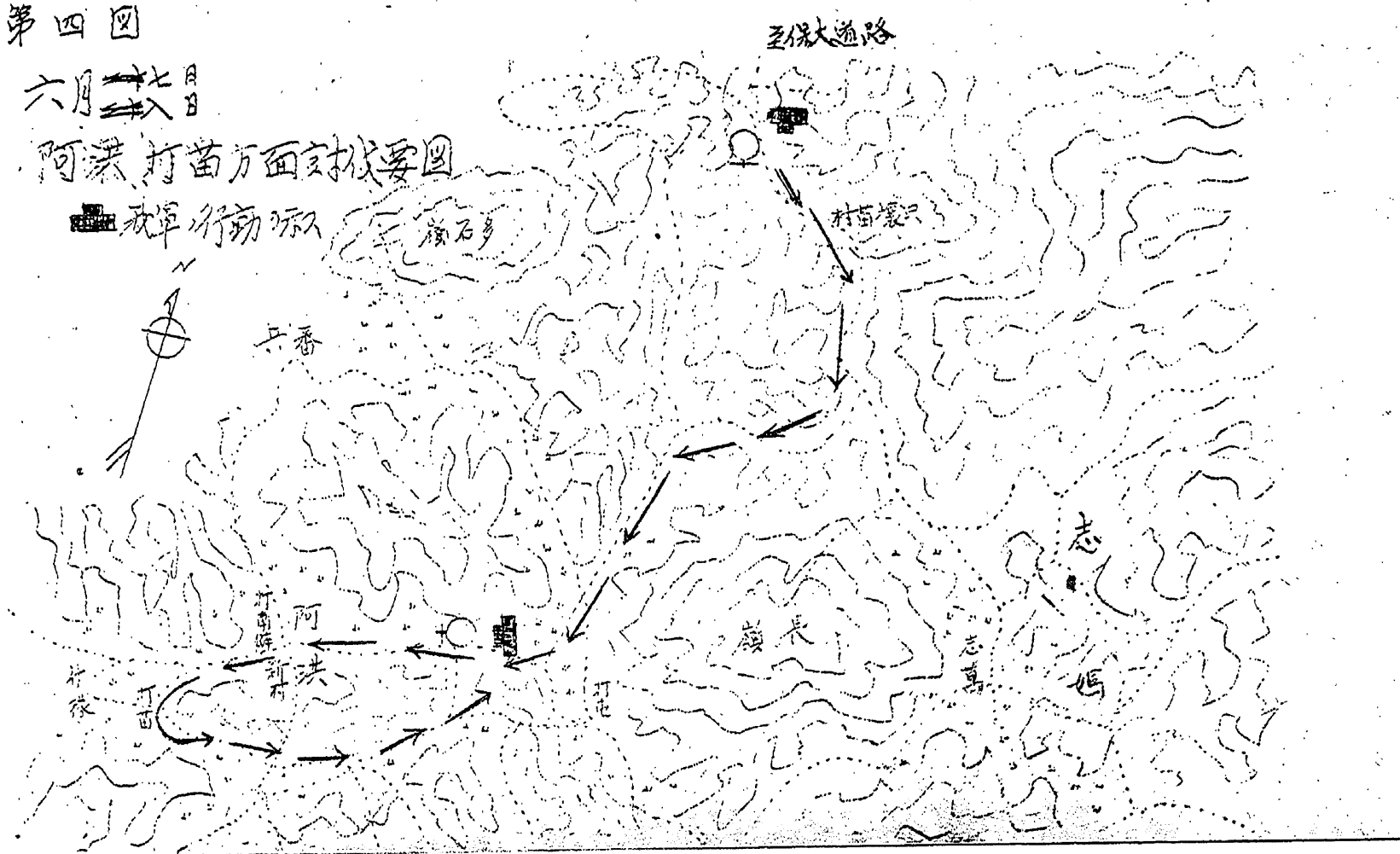
加

第四圖

六月 ~~七日~~
八日

阿洪打苗方面討伐要圖

我軍行動跡



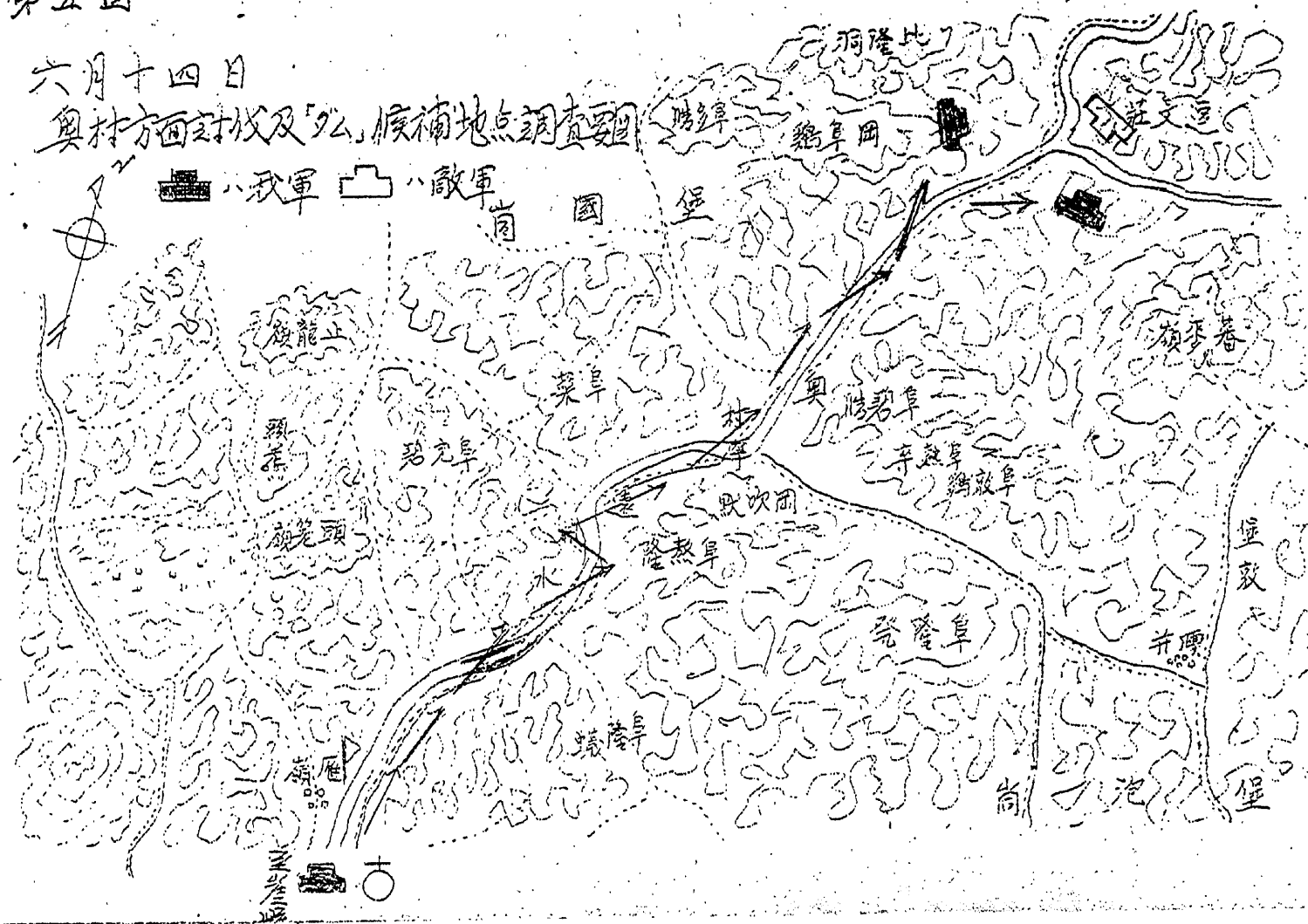
1309

第五回

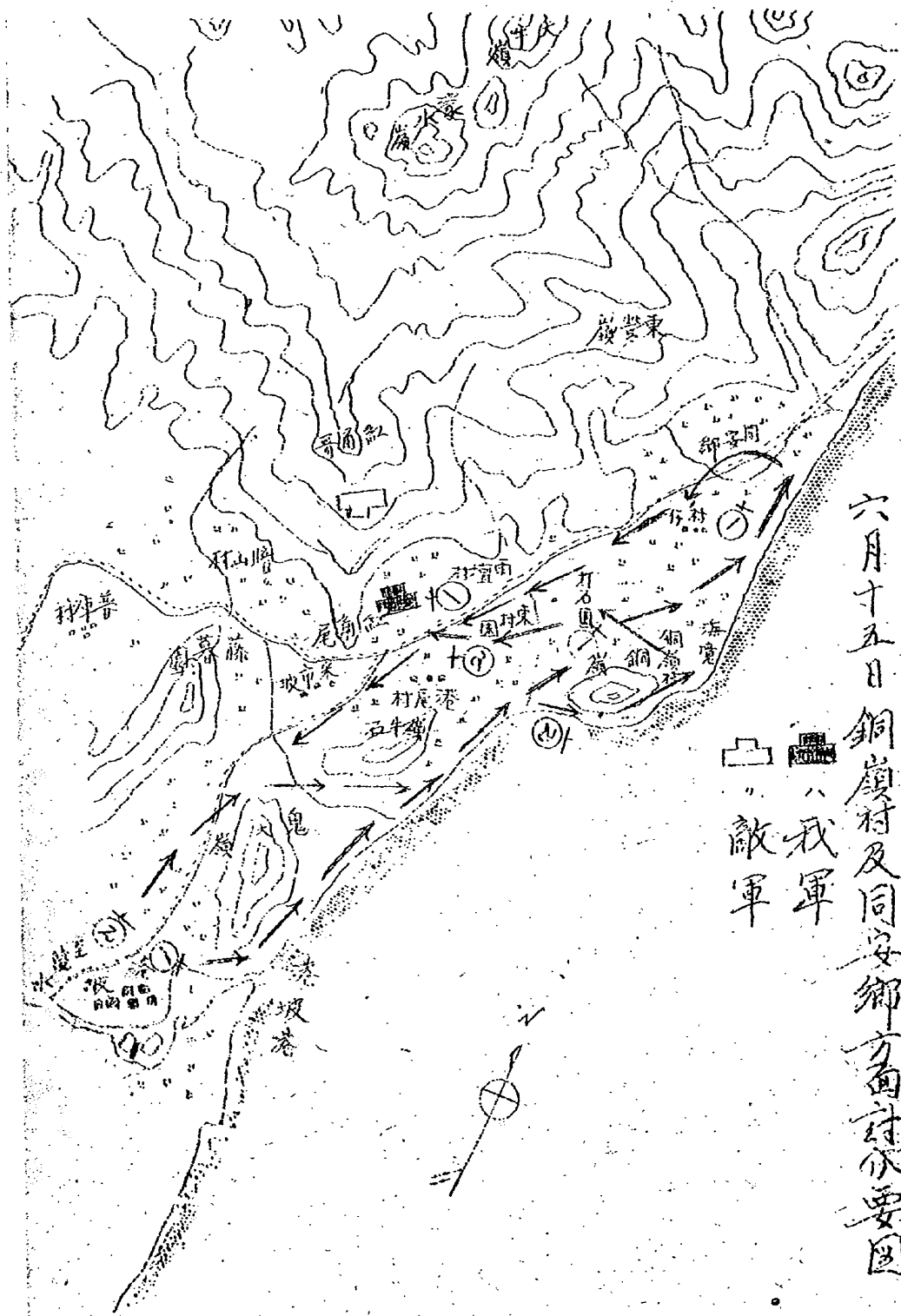
六月十四日

奥村方面討伐及以候補地点調査要圖



○ 我軍 □ 敵軍



1310

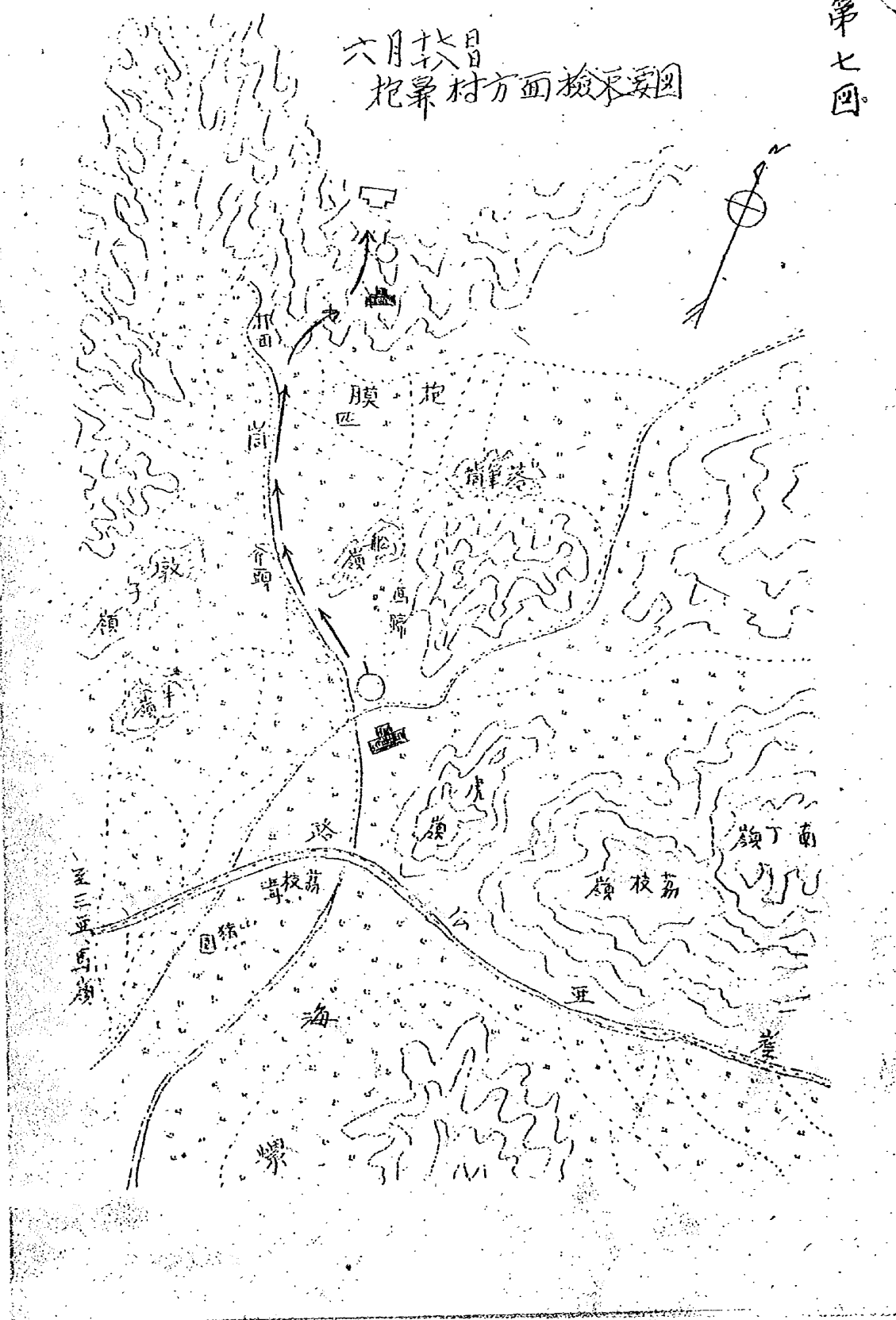


六月十五日銅嶺村及同安郷方面討伐要圖

 敵軍
 我軍

Im

六月廿日
抱幕村方面檢査要圖



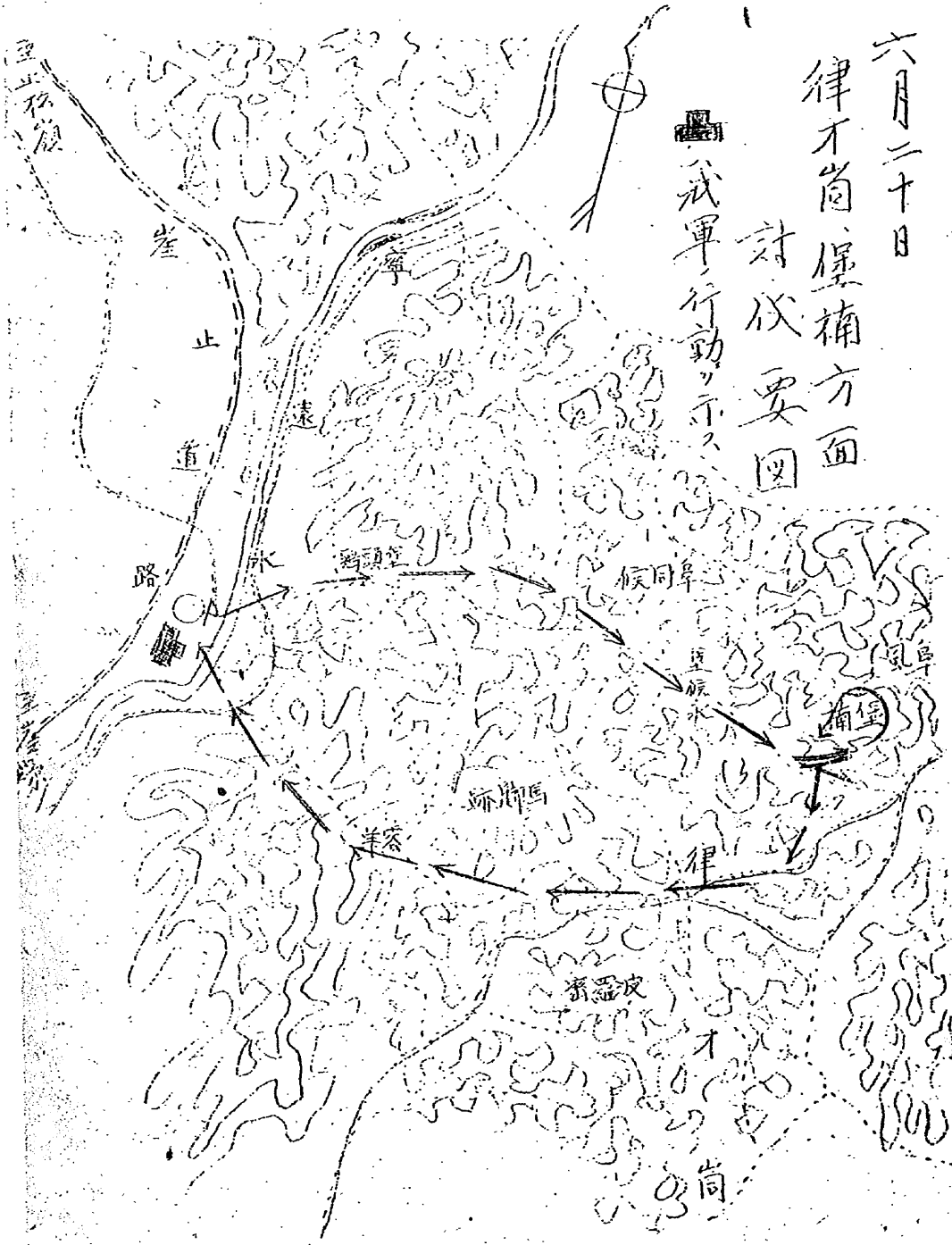
第八回

六月二十日

律才崗堡楠方面

討伐要図

我軍行動ノ示ス



別冊第三

防衛省保存字庫第八特別陸戦隊本部

一 作 戦 計 画 書
二 経 過 概 要 成 果 及 所 見

目 次

別 紙 第 一

別 紙 第 二

(目次終)

軍要
別紙第一

機密 六佐八特部隊命令第一號

昭和十七年五月三十一日

於嘉積

佐八特部隊指揮官 齋藤泰藏

六作戰佐八特部隊命令

敵情

別紙第一

友軍情況

一 舞一特部隊機密海南部隊命令第一九號ニ依リ佐八特
部隊ト緊密ニ連絡シ下ニテ日(特令ニアル)行動ヲ開始シ
逐次新興市方面、嶺門市方面、南坤市方面、西昌市方面、
順序ニ糗合、挑撃ヲ討伐スルト共ニ引續キ南坤市、榕木鋪市、西
昌市、新興市ニ進駐ス

(一) 十五警部隊ハ譚文平原内ノ敵兵匪ヲ捕殺撃滅スルト共ニ同

地方數個所ニ進駐ス

(二) 航空部隊ハ廿一日迄ニ七基地ニ進出シ廿日指令地矣ノ際撃ニ

任ス(廿日以後ノ作戰行動ニ其ノ都度指令セラルルト共ニ敵

情偵察友軍トシ連絡宣傳日コト撒布等ヲ實施ス

ニ我軍ノ企圖

(一) 作戰目的

作戰地区ニ蟠居ル敵兵匪ヲ速ニ捕殺撃滅スルト共ニ極力道

路網ノ建設ヲ敵ニ對任民宣傳ヲ實施スルニ在リ

(二) 作戰方針

廿七日早朝行動ヲ開始ス(特部隊ト緊密ナル連絡ヲ下ニ

逐次新興市方面 嶺門市方面 南坤市方面 西昌市方面)

順ニ聯合挾撃ヲ討伐ヲ決行ス

(1) 豫特部隊トノ聯合作戰一段落後、單獨主力ヲ以テ烏坡方面ニ
 木方面ノ敵討伐ヲ決行スルト共ニ、約一ヶ月ノ豫定ヲ以テ計
 續キ先ツ烏坡市附近ニ次テ楓木市附近ニ、黃嶺市附近ニ
 聯合作戰終了並ニ進駐完了ノ豫定ニ、進駐要塞武兵
 舎ノ築造ヲ至急開始シ且左ノ道路網ヲ整備ス

(1) 羊角嶺 — 南坤市間道路ノ一部

(2) 南陽市 — 烏坡市 — 嶺門市
 南陽市 — 楓木市 — 嶺門市
 嶺門市 — 道路ノ一部

(3) 屯昌市 — 西昌市

(4) 大同市 — 海軍市 — 道路ノ一部

(5) 大同市 — 新興市

(6) 右作戰ノ余カヲ以テ、敵討伐ヲ行ハントス

(7) 留守隊ハ防禦施設ヲ完成シ貯糧品一ヶ月分ヲ貯ヘ敵襲ニ

五軍隊区分

司		指揮官	
第一	大指長	隊	名
中	大隊指揮小隊		
本部	銃隊 <small>(小隊)</small>	兵	力
中隊	銃隊 <small>(小隊長)</small>		
	通信隊		
	醫務隊		
	通譯		

際其ハ独力ヲ以テ撃退シテ遺憾ナキヲ期スベシ
 曰作戰期間及呼稱
 六月上旬七日ヨリ約十日間………六作戦
 右終了後約一ヶ月間………進駐作戦

令

第	長隊中三第		長隊
第四中隊	第三中隊	第三中隊	第一中隊
通信隊 銃隊 <small>（小隊長ヲ令ム）</small>	通 辯 醫務隊 銃隊 <small>（小隊長ヲ令ム）</small>	通 辯 醫務隊 通信隊 銃隊 <small>（小隊長ヲ令ム）</small>	通 辯 醫務隊 通信隊 銃隊 <small>（小隊長ヲ令ム）</small>

主計長	医務長	工務長	運輸長	通信長	第五中隊	第四中隊	長
附屬隊					第五中隊	砲隊	
主計隊	醫務隊	工作隊	運輸隊	通信隊	醫務隊	砲隊	
					銃隊ニ分隊 (小隊長ニラ合)	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	
					通辯	砲隊	

- 六 補給 別紙 第三
- 七 通信 別紙 第三
- 八 運輸 別紙 第四
- 九 宣傳 別紙 第五

考	備
究配属ス	<p>一 別ニ設学隊ニ六四名</p> <p>支那人夫三八名現地方面ヨリ徴登ス</p> <p>二 嘉積本部ヲ自転車ヲ陸戦隊本部ニ各中隊一各</p>

〆終察並ニ設営

別紙第六

〆第一特部隊トノ聯合作戰ニ關スル精細命令令々其ノ都度

令々ス

〆報告

各中隊長並ニ主務隊長ハ〆六作戰終了後一週間以内ニ経過ノ概要成果並ニ所見ヲ本職ニ提出スル

〆

機密Y六伍八特部隊命令第(號別紙第)

Y六作戰佐合特部隊彈藥燃料糧食食品補給計畫

一各主務隊長一本作戰中必要彈藥燃料糧食食品(豫備量

共)ヲ以日迄ニ屯昌ニ運搬シ進撃準備ヲ完成スヘシ

ニ率一特部隊トノ聯合作戰終了後ニ補給ニ関シテ其都度々

ニ彈藥並ニ燃料

(一)彈藥

一彈藥準備數

(1)小銃彈一日一人ニ付豫備六。発(携帶彈藥包ニハ。発)

(2)機銃一日一機ニ付、一三。發

(3)輕機銃、三。發

(4)擲彈筒、二五發

(5)手榴彈各一人ニ發携行(豫備五。本部ニ準備)

(イ) 発煙筒 (毎)各分隊各三個(隊備五。本部一ヲ準備)
(二)各中隊各三個() 五
(三)本部 五個

(ロ) 山砲一門ニ付五。発(隊備一五。発)

(ハ) 曲射砲 五。発 () () 五。発

(ニ) 須式自動拳銃一日一挺ニ付一。発

(シ) 火箭各小隊各三発(隊備一五。発本部一ヲ準備)

(ヒ) 信號彈一挺ニ付一八発 () 五。発

(フ) 手投液彈各分隊各一個 () 五。発

(註) 進撃時豫備彈藥一日分ヲ携行スルモノトス

輸送

進撃部隊

(イ) 各種彈藥本部一ヲ準備スルヲ豫備彈藥外各中(砲)隊

ニテ準備スルモノトス

(ロ) 進撃之際一携行彈藥外全部モ且ニ残ス

① 進撃ニ際シテハ彈藥ハ人夫ニ依リ輸送スルモ彈藥隊トシテ隊列ヲ整正ヘシムモノトス

② 残留部隊

在庫量ニモ處理シ得ル如ク準備スベシ

③ 燃料

① 進撃部隊

運輸隊長ハ好自送ニハ。。。。立屯昌ニ運搬保管シ又日出撃

際尙臺門六。大同六。壘塘一。立輸送ス

② 残留部隊

残部ヲ若積ニ保管シ情況ニ變化ニ應ジ逐次補給ノ途ヲ講ス

④ 糧食食品

① 貯糧品 事前一月分ヲ各隊ニ配給ス

② 生糧品 左記ニ依リ博覧及鳥場ニ陸揚シ一部嘉積

万寧支屯島ニ運送保管スル共ニ大部ヲ即日各隊ニ配給ス

生魚肉、大部冷蔵用氷一軍需部給糧船(榆林ヲ基地トスル)

生獸肉、生野菜、一部

漬物、調味品類

一 同右(高雄ヲ基地トスルモノ)

生獸肉、大部、嘉積ニ於テ現地購買、上各隊ニ配給ス

配給要領、從前通トス

③ 露特部隊ト聯合作戰、現品ヲ配給、各隊飯盒烹炊ヲ至前トス

④ 右作戰一段落後、補給ニ関シテ、其ノ都度定ム

⑤ 各主務隊長ニ連絡ヲ密ニシ、補給用自動車ノ最善活用

ヲ計ルヲ要ス

⑥ 残前隊各隊(分)遣隊長ハ作戰ニ支障ナキ限り各主務隊長

長ノ要求ニ應ジ、人員並ニ自動車派遣ノ便ヲ計ルハシ

8

機密Y六伍八特部隊命令第一號別紙第三

Y六作戦佐八特部隊通信計畫(其一)

Y六作戦佐八特部隊通信計畫(其二)
 部隊作戦通信規程及機密海南部隊命令第一九號ニ據シ
 外本計畫ニ依リ之ヲ實施ス

通信配備

(一) 附表第一、通

(二) 各中隊通信ハ大隊本部、中継ニ依リテ立前トシ大隊本部

移動中ハ嘉積本部ヲ中継トシテ通信ス

但シ各中隊ハ自己宛電報ノ直了ニ努ムト共ニ状況ニ依リ

直接通信スルコトヲ得

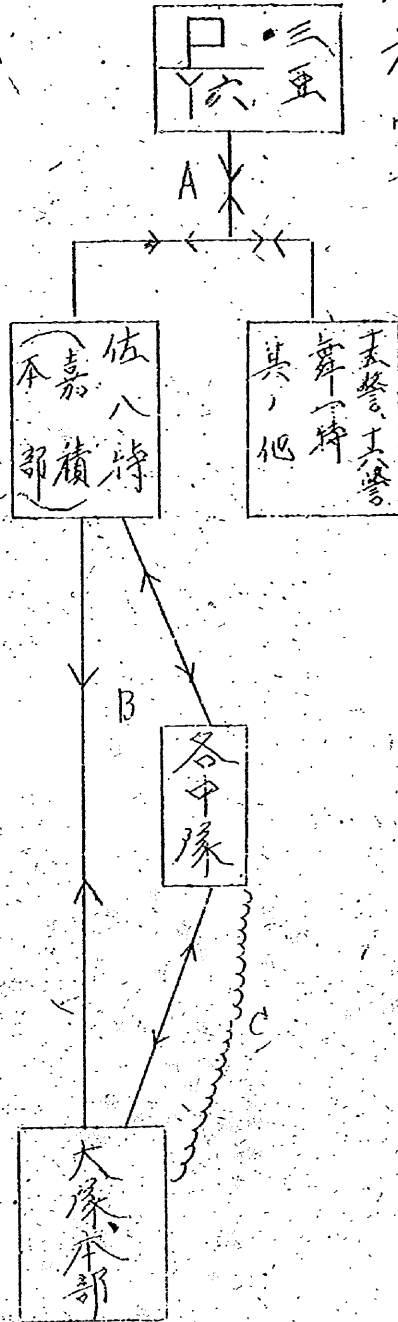
(三) Y六中隊以上同一地域ニ駐屯スル場合ハ先在中隊長之統制
 聯合當直ヲ行フコトヲ得、現場令達ニ之ヲ報告スベシ

一、七九五。(七二二)ノ使用ハ特令ス
 二、幾首部隊ノ通信ハ有線電話ニ依リ之ヲ行フ
 三、使用兵器、暗號書表
 四、附表第一通
 五、呼出符號(番號)
 六、原隊ニ在ル中隊ハ田有呼出符號ヲ使用ス
 七、進撃部隊ハ左ノ表ニ依ル

隊名	呼出符號	電話番號	隊名	呼出符號	電話番號	記
佐八特 進撃部隊	トシハ	(トクハ)番	第百部隊	フ	(三)番	佐八隊内電話機ヲ以テ行フ電 信通信用呼出番號トス 職名符號使用法ハ海軍無 線電信規程附録(職名 符號表)同シ
大隊本部	サハ	(サハ)番	本隊本部	ト	(五)番	サハ八佐八特司令 サハ八佐八特軍隊長
中隊本部	シハ	(シハ)番	進撃部隊	シ	(六)番	

附表第一

乙	B	A	符号
電話	五五七〇 KC (七七八)	六二七〇 KC (七七八)	(略)
行動開始時終止	連絡完了後、通信時間ハ特令ス	特令、恰々ノミ	通信時間又ハ、連絡 開始時間
	嘉積本部ハ、特令受各中隊ハ、特令ヲ得、次其連絡ニ努ムルコトス	毎奇数時、偶数時ハ	



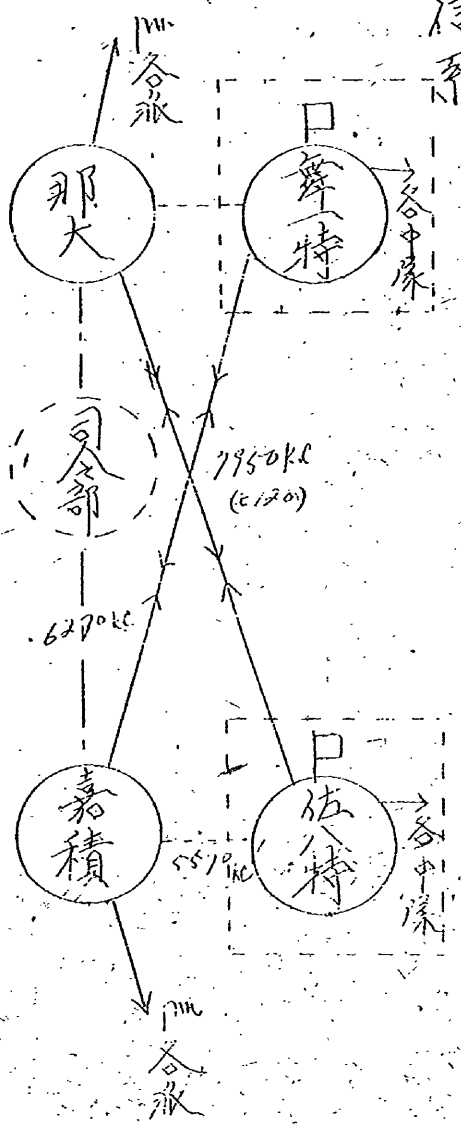
附表第二
使用兵器暗號書表配員表

隊名	電信員	暗號員	兵器	暗號書(表)	記事
嘉積本部	六	二	短移動 九七番話	DA PK	發電機員(取次)
大塚本部	三	三	九七番話	DA PK	取次系傳令
第一中队	一	一	九七番話	PK	
第三中队	一	一			
第四中队	一	一			
本部中队	一	一			

8

通信系

六作戦法の特通信計画(其二)



七九五。(ヒニニ)系ヲトクツケト呼称ス

通信時間

- 一〇。八〇。一三三。迄毎時ノミ。介連絡
- 必要ノ際ハ右時間ハ伸縮スル事ヲ得
- 電話通達巨島内ニ入りタル時ハ相互連絡ニ努ムモノトス

④呼出符號及呼出隠語

部隊名	呼出符號	隠語	記
舞一特	マ一	舞鶴	事
佐八特	サ八	佐世保	無線電誌後指度四十 五度

⑤通信の要領

(例) 佐八特陸戦隊本部より舞一特司令宛電報に有るは特八直接送信ス(七(一))舞一特移動中ニテ感キ特八那大ニ送信シ置キ那大ハ本部ト連絡スル時本電ヲ中継ス

①宿営後連絡完成セバ各特陸本部外當直ヲ撤スルコトヲ得

②状況ニ依リ「ヨッテ」經由行フコトヲ得

③陸戦隊本部行動中ハ行動開始ト同時ニ那大嘉積ハ當特連絡トス

④雜件

五月三十日。九。〇。ヨリ電波整合ヲ行フ(整合機所三重)

機密ノ六法八特部隊命令第壹號別紙第四
 六法作戰法八特部隊車輛配屬計畫
 進撃部隊

隊	本部	車輜別		記
		貨物車	乗用車	
第一中隊	大隊指揮小隊		二	貨 67 68 兼 入
		(本部中)		
		銃隊(一小隊)	三	
		附屬隊		
		銃隊(一小隊)		
計			五	
	銃隊(一小隊)			
	附屬隊			
第三中隊	銃隊(一小隊)		五	23 30 32 38 69
		銃隊(一小隊)		

附屬隊					第五中隊	第四中隊	
醫務隊	政務隊	工作隊	運輸隊	通信隊	銃隊(系隊)	附屬隊	銃隊(系隊)
二	四	二	三	一	五	五	
貨 75 被 1	警 37 55 56 58	" 73 72	" 76 74 78	" 61	" 34 39 62 80	貨 41 43 54 55 58	

註

各隊ノ荷物ヲ極限スベシ
 採用車運転員ハ嘉績ニ集結スベシ

合	計	大指	主計隊
			四
合	計	大指	貨
			貨 33 26 70 撒 /

機密Y六佐八特部隊命令第一號別紙第五

Y六作戰佐八特部隊宣傳計畫

一、任務

Y六作戰地区ニ於テ対民衆対敵兵投降帰順勸誘宣傳ヲ實施スルニ在リ

二、期間

Y六作戰

進駐作戰

一、期間

三、編制

主力部隊ニ宣傳隊本部ヲ置キ宣傳、指導並ニ材料ノ整備配給ニ任ズルモノトス

宣傳隊本部ニ下士官兵ニ若ク若干ヲ配ス
各中隊(支隊)本部ニ宣傳隊支隊ヲ置ク

各中隊（支隊）長ハ宜傳隊支隊ヲ指揮シ作戰地区ノ宜
 傳ヲナスモノトス
 各宜傳隊支隊ニ下士官兵（班長）若干ヲ配ス



機密ノ六佐八特部隊命令第一號別紙第六

ノ六作戦佐八特部隊警察並ニ設営

一 警察隊

二 任務

固有任務外宣傳隊ノ任務遂行ニ協力

三 編制

配屬部隊	指揮官	隊	員
各中隊	各中隊長	巡查	四名宛
備考	或可軍隊出身者	海南語ニ通ズル者ヲ選出ス	

四 實施要領

一 宣傳隊ノ対民衆ノ対敵兵投降帰順勸誘ニ協力

二 捕虜ノ訊問調査

三 支那人夫ノ監督

戰利品徵発品其他警戒取締ツラ要ス平物件監視保管補助
由敵諸情報、蒐集民情調査

占領地区内ノ戸口調査

宣撫工作

設営隊

任務

佐々特担任区ノ道路橋梁建設及設営

編制

配屬部隊	指揮官	設	営	隊	員
本部	工作隊長	二	六	四	名

實施要領

破壊橋梁道路ノ補修建設

設橋梁道路ノ建設架橋